



外国出張報告書

平成 26 年 11 月 21 日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成 26 年 10～11 月
3. 出張目的 「低湿地における施肥技術の開発」に関する栽培試験及び
農家圃場での実証試験の収量調査：B

4. 成果の概要

プロジェクトサイトのガーナ国氾濫低湿地において、河川からの距離が異なる試験圃場 7 地点で実施した硫黄と窒素の組み合わせによる施肥試験の収量および地上部乾物重を調査した。

同サイトおよび試験圃場に設置する環境測定機器（気象観測装置、土壌水分センサー、水位計）の動作確認を行うとともに、試験期間中の環境計測データを整理した。

今年度は、試験期間を通して安定した降雨がみとめられ、過去 2 年間の試験と比較して、各圃場の収量性は比較的高い傾向が観察された。

合わせて、窒素と硫黄の組み合わせによる施肥技術の効果を農家圃場で実証するための農民参加型試験について、対象とした計 35 地点のうち、15 地点での収量データを回収した。いずれの農家からも積極的な協力が得られ、最小限のインプットで信頼性の高い収量データが得られていると考えられた。残りの圃場については、現地のカウンターパートに追調査を依頼した。